



普及センター もりおか



インターネットでオールカラーの記事が読めるよ！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか

検索

第160号平成27年9月25日発行
盛岡農業改良普及センター
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎
TEL 019-629-6726 FAX 019-629-6739

7月から
9月の普
及現地情
報を紹介
します



女性農業者等オペレーター研修会を開催！！

J Aと農業改良普及センターは、女性農業者、新規就農者等を対象に、農作業事故の防止及び機械費の低減等に向け、農業機械の適正な操作や保守点検等を学ぶ研修会を開催しました。

7月29日はJ Aいわて中央管内で、8月25日はJ A新しいわて管内で、農作業安全について座学研修、農業機械操作の実習を行いました。農業機械操作の実習は、基本操作について指導員から説明を受けた後、個々に各農業機械を操作実習し、大変参考になった様子でした。また、農作業安全や農業機械の保守点検等の講義にも熱心に耳が傾けられ、研修内容は好評でした。

県央圏域地域営農リーダー育成塾を開催しました

県央圏域地域営農リーダーを対象に、営農組織の経営管理を学ぶ研修会を7月16日(第1回)、8月19日(第2回)、27日(第3回)と3回にわたって開催しました。第1回の研修は、「財務・税務入門」、「中期経営計画の策定・演習」の研修を実施しました。第2回の研修では、社会保険労務士の横山信英氏と(農)宮守川上流生産組合の多田組合長を講師として、「組織における人材の確保と労務管理」の総論、及び実際の取組事例を学びました。第3回は、「法人化、法人の財務管理・税務管理」について、税理士の森剛一氏から経営管理改善を含む幅広い内容の研修を受けました。

各回の研修には、5～7組織の参加があり、研修で学んだ試算表や講師の資料について、「活用したい」、「詳しく教えて欲しい」、「追加の資料が欲しい」といった感想があり、参考になった様子でした。

農村起業講座で宮城県へ！

農村起業者の更なる発展に必要な知識の習得と技術の向上を目的に、盛岡地方農村起業講座を開催しています。今年度の第1回は、9月4日宮城県へ視察研修に行きました。

6次産業化の事例では、宮城県美里町の(株)はなやか代表取締役の伊藤恵子さんから活動事例を紹介していただきました。農畜産物の生産・加工・販売、農家レストランの運営、農業体験の企画運営などについて具体的に教えて頂きました。実際に販売している直売所「花野果市場」も見学し、加工品の種類やパッケージ、PR方法なども参考になったようです。参加者の情報交換をし、同じ地域の仲間との交流にもなり、お互いの刺激となった様子でした。

ミニブーケ作り&簡単料理作り&お茶会しましょう！

今年度新たに、「若い消費者向け農業発信講座」を開催しています。子育て世代の若い消費者を対象に、農業体験や調理体験などを通じ、近郊で営まれている農業や地域の食文化への理解を増進し、家庭での食育や地産地消活動の契機とすることをねらいとしたものです。

5回シリーズの1回目は、7月10日に開催し、紫波町の花き農家からミニブーケ作りを教わり、2回目は、8月26日に、紫波町農村ライフスタイル実践女子会会長から、野菜を使った簡単料理を教わりました。野菜や料理の事など子育て世代ならではの話題で情報交換しました。託児室を設けての開催は大変好評で、農業についての勉強もできた様子でした。



普及センター
チーム紹介

果樹振興チーム

果樹振興チームでは、当地域で栽培が盛なりんごやぶどうなど果樹の生産振興に向けた取り組みとして、りんごでは特別栽培に対応するための病害虫・防除技術、ぶどうでは消費者ニーズの高い大粒種等新品種の導入などの技術指導を中心に活動しています。

「実証ほ」の紹介

りんごにおける天敵を活用した害虫防除技術開発



背景

- 消費地近郊でりんごを栽培している盛岡地域は、農薬の削減に対する関心が高く、県内では最も早くから交信攪乱剤が導入されています。
- 交信攪乱剤導入当初は、殺虫剤の散布回数の削減により天敵が保護されハダニ類の発生も減少し、コスト削減につながる技術と期待されていました。
- しかし、技術を導入し10年以上経過した現在でも、ハダニ類の発生は慣行防除地域と同程度の発生状況となっており、対応に苦慮しています。
- 特に、特別栽培を行っている園地では使用できる農薬数が限られているため、急激に多発した場合の対応が課題となっています。

目的

特別栽培、交信攪乱剤を導入している園地にハダニ類の天敵であるカブリダニ剤を導入し、ダニ剤散布軽減を図る。

カブリダニ剤の特徴

- 天敵ミヤコカブリダニを餌入りのパックに充填した製品。
- カブリダニは数週間かけてパックから徐々に放出される。
- パックを枝に吊るすだけなので省力的（2袋/樹）。
- ナミハダニ、リンゴハダニなどの天敵であり、餌となるハダニが存在しない場合は花粉を捕食し生存できる。

ミヤコカブリダニ
50頭/パック



実証結果は今後の指導会等でお知らせします。

既存のダニ剤は抵抗性の発達によって効果が徐々に低下することが見込まれるほか、新規ダニ剤の登録も少ない状況のため、天敵を活かした防除技術の確立への期待が高まっています。



「秋の農作業安全月間」が始まりました！

平成27年9月15日(火)～11月15日(日)

スローガン「無理するな 疲れたときは NO! 作業」

県内では春の安全月間中（4月15日～6月15日）、3件の農作業死亡事故が発生しました。稲刈りも始まり、機械を使う農作業が増えますので、今まで以上に注意して作業しましょう。

○慣れと油断が事故のもと いつもの作業もまず確認！

○焦りは禁物！夜間の作業は避けましょう！

○点検時はエンジンをストップ！

○一声かけて事故防止！